「図書室だより」

中央公民館内　9：00 ▶ 16：00

『面白くて眠れなくなる「古事記」』
（島崎晋／PHPエディターズ・グループ）

日本神話といえば「古事記」。決闘、陰謀、恩返し、騙し討ち、禁断の恋など、娯楽性が豊富で、神様も天皇も人間味が溢れている。目次から、一筋縄ではいかない子づくり／弱そうで一番偉い神様／神様も接待に弱い？／矢に変身して現れたイケメン／仁義なき皇位継承争い…など

『金山町－中心地区－街並みづくり100年計画』
（林寛治・片山和俊／求龍堂）

昭和58年から始まった金山町の「街並みづくり100年運動」。その中心となり、携わってきた建築家・林寛治氏、片山和俊氏のまちづくりと建築の作品集。建設当時と現在の様子が分かるたくさんの写真、建築物の図面、日本語と英語の解説による見ごたえたっぷりの1冊。

No.172 「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぽすと内

『すずちゃんののうみそ』
（竹山美奈子／文　三木葉苗／絵
岩崎書店）

すずちゃんは、年長のゆり組さんになっても、おしゃべりができません。スプーンもうまく使えません。急に泣いたり笑ったり、かみついたりすることもあります。手をひらひらさせたり、変な顔をしたり、くるくる回ったり。なんだか動きもへんてこりんです。

「ねぇ、すずちゃんママ。すずちゃんは、どうして年長さんなのに、くつを一人ではけないの？」

そんな保育園のお友達の問いに、言葉を話せない自閉症スペクトラムのすずちゃんのことを分かりやすく書いた絵本です。

新刊本　6月

※（　　）内作者名

背高泡立草／（古川真人）#名画で学ぶ主婦業／（田中久美子）魔女たちは眠りを守る／（村山早紀）クスノキの番人／（東野圭吾）はまじとさくらももこと三年四組／（浜崎憲孝）

＼今月は10冊！／

緋色の残響／（長岡弘樹）猫君／（畠中恵）ねなしぐさ平賀源内の殺人／（乾緑郎）百万都市を俯瞰する江戸の間取り／（安藤優一郎）ざんねんな武将たち／（大友宗哉）

初夏は出没増加 クマに注意！

注意する5つのポイント

①クマから見れば森林は自分の領分。人は侵入者です。
山はクマから見れば自分の領分ということを忘れないでください。

②クマに自分の存在を知らせましょう。
山に入るときや田畑に出るときは、ラジオやクマ鈴、笛などの音の出る物で人の存在をクマに知らせましょう。

③子連れのクマに注意してください。
子グマを見たら近くに母グマがいて、警戒していると思ってください。
危険ですので周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

④万が一クマに出会ったら、背を向けずにゆっくり後退してください。
クマ撃退スプレーの使用も効果的です。

⑤餌付けとなる食品や生ゴミを放置しないでください。
果実の放置などもやめましょう。

備えは万全に！

笛　クマ鈴　ラジオ　携帯電話

●クマを発見したら…役場産業課　農政・林政・農村整備課係　☎ 52-2111（内線401）
●クマに関する情報は…山形県環境エネルギー部　みどり自然課　☎ 023-630-2208

東京金山会通信 No.14

東京金山会のページにアクセス！

問い合わせ
東京金山会 広報担当（藤山善夫）
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

田屋の一本桜も満開になりました。例年であれば楽しいゴールデンウイークを迎えるはずでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらずステイホーム週間になってしまいました。皆さんで協力して乗り越えましょう。

【都会でがんばる金山町出身者】
都会での生活を夢見て故郷をあとに、都会での荒波にもまれながら故郷を思い、がんばっている皆さんを紹介していきます。2人目は稲沢出身高橋弘大（こうだい）さんです。

東京金山会 大場加枝子（かえこ）会長の挨拶

大場会長

この度、一身上の都合により会長の職を辞任させていただきます。金山町長はじめ多くの関係者の方々には公私ともに大変お世話になりました。7年の間会長として勤めることができましたのも皆様のおかげと感謝しております。今後は現在副会長の柿崎栄三（えいぞう）さんに会長代行として職務を引き継いで頂き、来年の総会で正式に会長に就任することになります。今後とも、東京金山会に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。柿崎さんについては東京金山会通信No.15で紹介いたします。

高橋さんご家族

有屋の稲沢地区の高橋です。金山高校、日産自動車整備専門学校栃木校を卒業後、自動車整備士として千葉県の企業に就職し、その後、陸上自衛隊に入隊しました。自動車整備士なのになんで自衛隊？と思う方もいるのではないでしょうか。自衛隊では自分達の乗る車も民間工場のように整備するので、自分の整備士の資格も埃がかぶることなく活用されています。入隊当初は埼玉県の大宮駐屯地に勤務していましたが、平成30年から沖縄県の那覇駐屯地で勤務しています。現在単身赴任で家族と離れて寂しいですが、休暇で埼玉経由で金山に帰るのが楽しみです。

ぶんぱい

金山杉俳句会報　第四三九回

ポケットに潜（ひそ）みしひと葉竹の秋　星川　きえ子
夕桜千の風てふ人想ふ

山椒の芽煮物に添えておもてなし　岸　あき子
枝垂れる一枝手折る梅の花

カタクリの萌黄に映えし花の冴（さえ）　高橋　洋子
廃校の校門錆れ霞濃し

鶯の初音遠のく昼下り　鵜沼　よし子
客来れば廻り良くなる春障子

残雪の山脈美しき朝の空　阿部　サタエ
春雷や三密の空駆けめぐる

かねやま紅風会

病床の友へ鶴折る梅見時　荒屋　阿部　勝子
何となく歩きたくなる花の道

国難よ終息願ふ花あかり　荒屋　関　喜美子
春の夜や手製マスクに精を込め

公園の満開ざくら寂しげに　菅越　庄司　けみ子
晴天の菜の花畑（はた）の自撮りかな

辞典手に異国の友へ花だより　七日町　青柳　キエ子
気の迷ふ事のみ多し菜種梅雨

令和なりコロナ舞ひ降り春何処　七日町　柴田　栖静
春惜しみいつまで続くコロナ風

鋤き込むや今盛りなるいぬふぐり　羽場　坂本　徳太郎
満開に道眞気分梅の花

幾度も腰を伸ばさむ五月空　上台　阿部　一歩
恵とて大地を息吹く青葉風

山陰（やまかげ）や春耕急かす靄ばしら　七日町　村松　枩風
燕来る早く立ち去れ魔のコロナ